スタートカリキュラムのマネジメントについて

スタートカリキュラムの編成・実践・評価の実際

京都市教育委員会
指導部　学校指導課
首席指導主事　　安村　俊輔

まずは…

本動画の視聴前に，以下の2つの動画を視聴しておかれることを推奨いたします。

1 「保幼小接続の推進
～子どもの学びと育ちをつなぐ
スタートカリキュラム～」

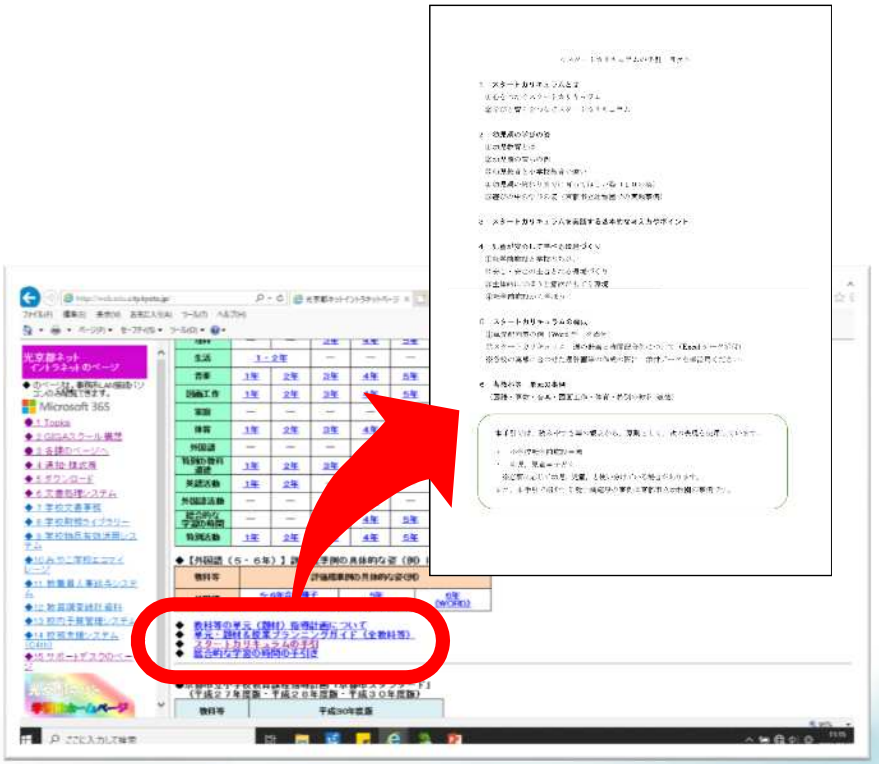
2 「幼児の発達と幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

参考資料

「発達や学びをつなぐ
スタートカリキュラム」
（文部科学省・国立教育政策研究所）

「スタートカリキュラム
スタートブック」
（文部科学省・国立教育政策研究所）

「スタートカリキュラムの手引」
（京都市教育委員会）



本動画のセクション

スタートカリキュラムの流れを確認しながら，実際に各小学校において
実施するための基礎となるアイデア例をお示しいたします。

0. デザイン	1. 把 握	2. 編 成	3. 実 践	4. 評 価
管理職のリーダーシップにより，学校全体で進めるための方向性を「指し示す」	子どものことや園の取組，関わり方などについて「知る」	時間割や学習活動などを「組み立てる」	児童の主体性を引き出しながら「進める」	記録を残し，改善点を整理して「引き継ぐ」

0. デザイン　1. 把握　2. 編成　3. 実践　4. 評価

スタートカリキュラムをデザインする

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を踏まえ，各学校や児童の実態に応じて小学校入学当初の指導の工夫や指導計画の作成が大切である。

基本的な考え方

- 一人一人の児童の成長の姿からデザインしよう
- 児童の発達の特性を踏まえて，時間割や学習活動を工夫しよう
- 生活科を中心に合科的・関連的な指導の充実を図ろう
- 安心して自ら学びを広げていけるような学習環境を整えよう

スタートカリキュラムをデザインする

大切！

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を踏まえ，各学校や児童の実態に応じて小学校入学当初の指導の工夫や指導計画の作成が大切である。

手順

遊びを通しての総合的な学び（幼児期）

（1）幼児の発達や学びを理解する

より自覚的な学び（児童期）

（2）期待する児童の姿を共有する

（3）各学校のスタートカリキュラムをデザインする

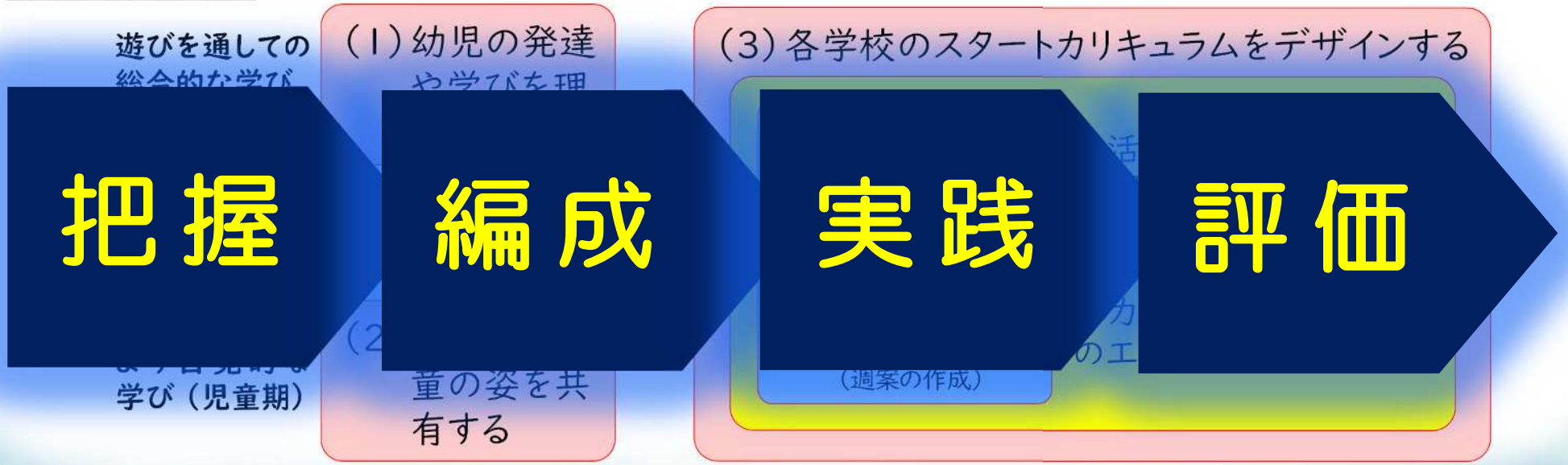
- ①単元の構成と配列（関連単元配列表の作成）　生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫
- ②週の計画と時間配分（週案の作成）　弾力的な時間割の設定の工夫

スタートカリキュラムをデザインする

大切！

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を踏まえ，各学校や児童の実態に応じて小学校入学当初の指導の工夫や指導計画の作成が大切である。

手順



STEP 1 全教職員で理解し，共有する

幼児の発達や学びの様子，指導の在り方などを十分に理解し，小学校入学当初の教育課程全体を通して育む「期待する姿」を全教職員で共有することが大切である。

理解

訪問

★施設などの環境

★教師・保育士の関わり方

★子どもの様子

etc.

意見交換

★子ども一人一人の特徴

★関わり方のポイント

etc.

要録など

★京都市子どもはぐくみ要録（写）

★就学支援シート

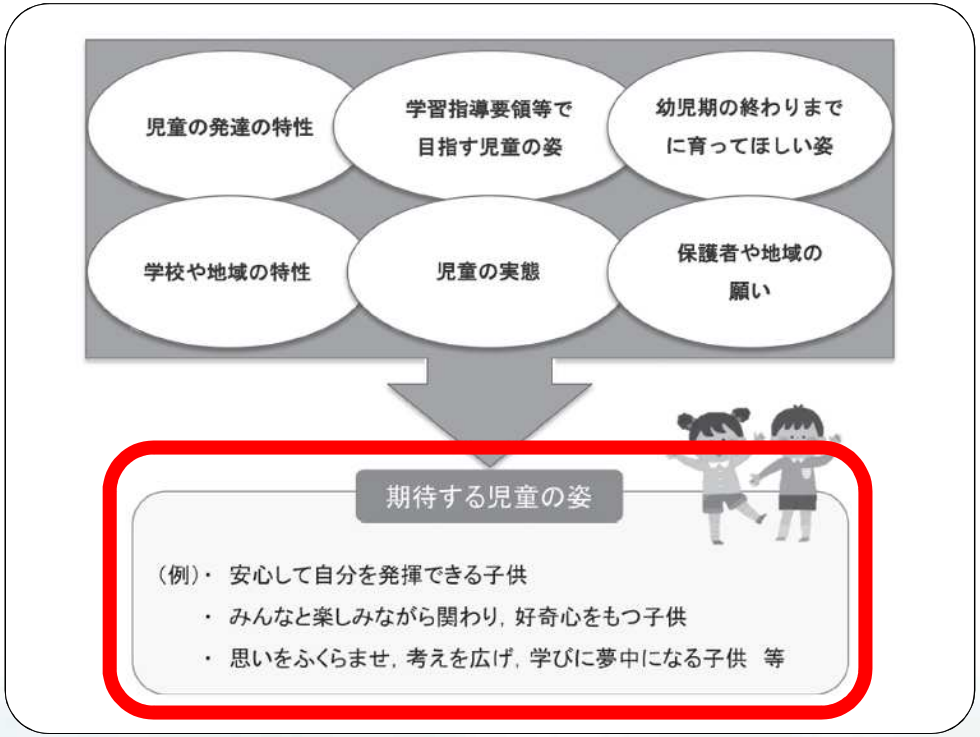
etc.

STEP 1 全教職員で理解し，共有する

大切！

幼児の発達や学びの様子，指導の在り方などを十分に理解し，小学校入学当初の教育課程全体を通して育む「期待する姿」を全教職員で共有することが大切である。

共有



〈参照〉

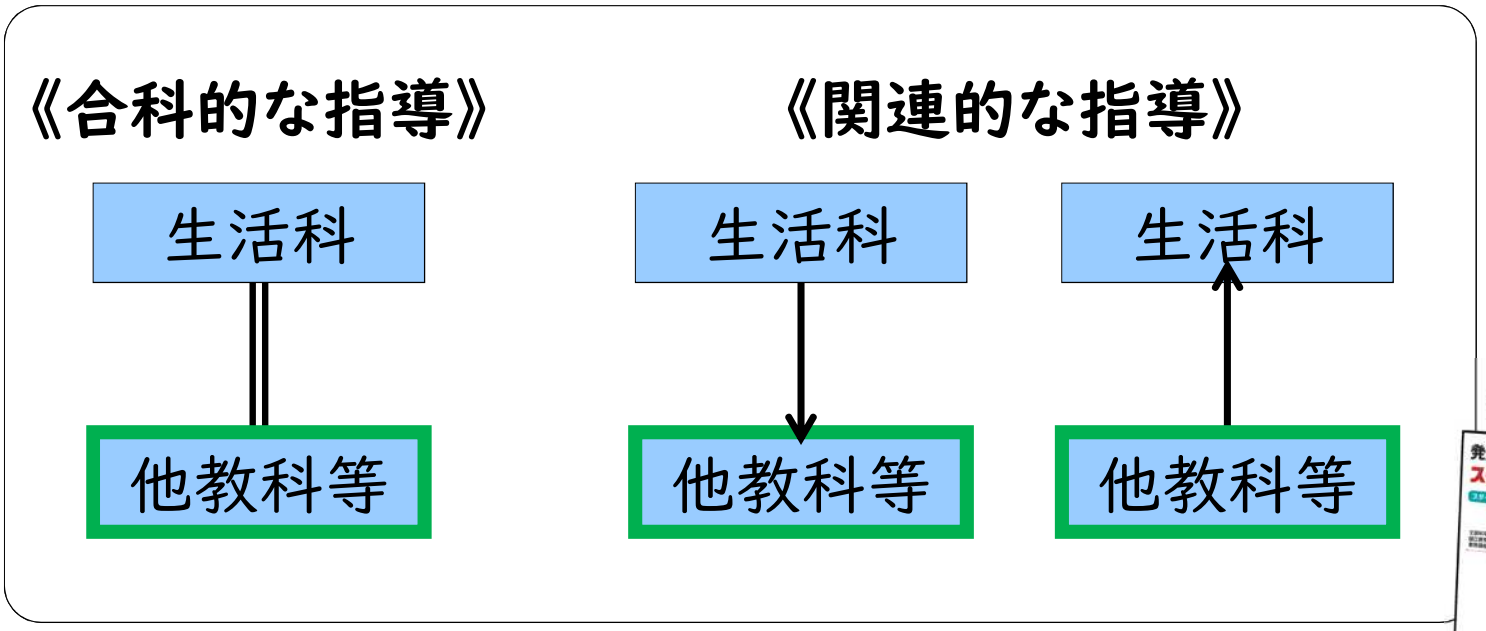
P.13

STEP 2 単元の構成と配列，週の計画と時間配分を組み立てる

大切！

児童が安心して小学校生活を楽しみ，自らの力を発揮しながら主体的な学習者として育っていく過程を思い描き，全体をイメージすることが大切である。

合科的・関連的な指導の工夫



〈参照〉

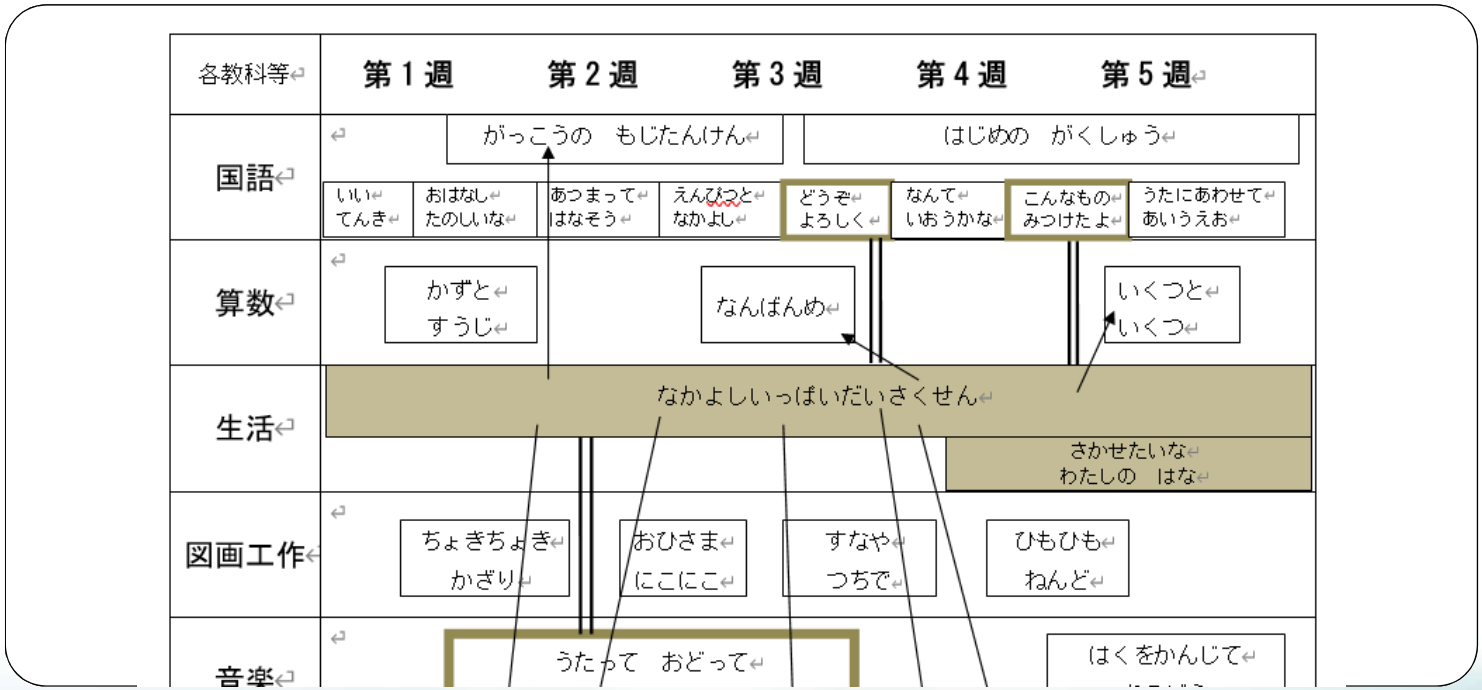
P.15

STEP 2 単元の構成と配列，週の計画と時間配分を組み立てる

大切！

児童が安心して小学校生活を楽しみ，自らの力を発揮しながら主体的な学習者として育っていく過程を思い描き，全体をイメージすることが大切である。

関連単元配列表（例）



STEP 2 単元の構成と配列，週の計画と時間配分を組み立てる

大切！

児童が安心して小学校生活を楽しみ，自らの力を発揮しながら主体的な学習者として育っていく過程を思い描き，全体をイメージすることが大切である。

週の計画（例）

第1週

	6日（月）	7日（火）	8日（水）	9日（木）	10日（金）
ぎょうじ					交通安全教室
				よみきかせ	
1				うたって おどって なかよくなろう （音楽） ＊どんな歌知ってる？	○うたって　おどって なかよくなろう ○あたらしい　いちねんせい （音楽）（生活） ＊職員室のむこうは･･･？
2				あたらしい いちねんせい ＊自分の机やロッカーの使い方を知ろう ＊トイレや職員室，保健室はどこかな	こうつう あんぜん きょうしつ （学級活動） ＊学校の行き帰りのルールって？

にゅうがくしき

スタートカリキュラムは，各校の実態に応じてつくります。学習活動に加えて，子どもの思い・願いなども書き入れておくと，各担任にイメージが伝わりやすくなる。
ここでは，
「＊○○○○○」
という形で，示している。

安心をつくる時間

生活科を中心とした学習活動

教科等を中心とした学習活動

STEP 2 単元の構成と配列，週の計画と時間配分を組み立てる

大切！

児童が安心して小学校生活を楽しみ，自らの力を発揮しながら主体的な学習者として育っていく過程を思い描き，全体をイメージすることが大切である。

週の計画（例）

第２週

	１３日（月）	１４日（火）	１５日（水）	１６日（木）	１７日（金）
ぎょうじ	【決まったタイムスケジュールを組む】 毎朝決まった時間に，担任が読み聞かせをしたり，歌や手遊びそうぃたりという決まった活動で一日をスタートできるようにすると安心感が高まる。		視力検査	町別児童集会	聴力検査
					よみきかせ（どんなおはなしかな
1	うたっておどってなかよくなろう	うたっておどってなかよくなろう	うたっておどってなかよくなろう	うたっておどってなかよくなろう	うたっておどってなかよくなろう
2	あたらしいいちねんせい（生活）＊2階はどうなっているのかな？	きがえよう（学級活動）＊上手な着替え方を知ろう	あたらしいいちねんせいおはなしたのしいな（生活）（国語）＊もっとたんけんしてみたい所は？	あたらしいいちねんせいおはなしたのしいな（生活）（国語）＊もっとしりたいことをきいてみよう	あたらしいいちねんせいおはなしたのしいな（生活）（国語）＊もっとしりたいことをきいてみよう
3	おはなしたのしいな（国語）＊見つけたことをつたえよう	からだほぐしのうんどう（体育）＊体育館を使ってみよう			
		しんたいけいそく＊自分の体のこと	しりょくけんさ	こくご	ずがこうさく

安心をつくる時間

生活科を中心とした学習活動

教科等を中心とした学習活動

STEP 2 単元の構成と配列，週の計画と時間配分を組み立てる

大切！

児童が安心して小学校生活を楽しみ，自らの力を発揮しながら主体的な学習者として育っていく過程を思い描き，全体をイメージすることが大切である。

週の計画（例）

第３週

	２０日（月）	２１日（火）	２２日（水）	２３日（木）	２４日（金）
ぎょうじ	朝会	検尿 ぎょう虫検査	検尿 ぎょう虫検査	授業参観 懇談会	内科健診
	よみきかせ（どんなおはなしかな）				
1	うたっておどってなかよくなろう	うたっておどってなかよくなろう	うたっておどってなかよくなろう	うたっておどってなかよくなろう	うたっておどってなかよくなろう
	なかよしいっぱいだいさくせんあつまってはなそう（生活）（国語）	なかよしいっぱいだいさくせんあつまってはなそう（生活）（国語）	なかよしいっぱいだいさくせんあつまってはなそう（生活）（国語）	なかよしいっぱいだいさくせんあつまってはなそう（生活）（国語）	あつまってはなそう（国語）
2	じをかくしせいえんぴつのもちかた（書写）	えんぴつとなかよし（国語）	どうぞよろしく（国語）	どうぞよろしく（国語）	なかよしグループ（２年生と）でたんけんしよう（生活）
	たいいく	１ねんせいを	たいいく		こくご

安心をつくる時間

生活科を中心とした学習活動

教科等を中心とした学習活動

STEP 2 単元の構成と配列，週の計画と時間配分を組み立てる

大切！

児童が安心して小学校生活を楽しみ，自らの力を発揮しながら主体的な学習者として育っていく過程を思い描き，全体をイメージすることが大切である。

週の計画（例）

第４週

	２７日（月）	２８日（火）	２９日（水）	３０日（木）	１日（金）
ぎょうじ	学年朝会			家庭訪問	家庭訪問
	どくしょタイム	どくしょタイム		どくしょタイム	どくしょタイム
1	おんがく うたっておどってなかよくなろう	おんがく うたっておどってなかよくなろう		おんがく うたっておどってなかよくなろう	おんがく うたっておどってなかよくなろう
2	なかよしいっぱいだいさくせん（生活） ＊もっと知りたいことがあるよ ＊どんなふうに探検しようか考えよ	なかよしいっぱいだいさくせん（生活） ＊ルールを守って行こうね	しょ	たいいく ゆうぐあそび	さんすう なんばんめ
				ずがこうさく	たいいく

【家庭訪問について】
家庭訪問では，学校の様子だけでなく，家庭での様子も聞けるようにしましょう。

安心をつくる時間

生活科を中心とした学習活動

教科等を中心とした学習活動

STEP 3 幼児期の総合的な学びからの円滑な移行を進める

大切！

心と体を一体的に働かせて学ぶという低学年児童の特性を生かし，主体的に自己を発揮しながら，より自覚的な学びに向かえるようにすることが大切である。

- 生活科を中心とした学習活動
- 教科の学習活動
- 安心して学校生活を送るための活動
- 児童が安心して学べる環境構成

〈参照〉

P.23～

STEP 3 幼児期の総合的な学びからの円滑な移行を進める

大切！

心と体を一体的に働かせて学ぶという低学年児童の特性を生かし，主体的に自己を発揮しながら，より自覚的な学びに向かえるようにすることが大切である。

生活科を中心とした学習活動

教科の学習活動

安心して学校生活を送るための活動

児童が安心して学べる環境構成

〈参照〉

P.23～

STEP 3 幼児期の総合的な学びからの円滑な移行を進める

大切！

心と体を一体的に働かせて学ぶという低学年児童の特性を生かし，主体的に自己を発揮しながら，より自覚的な学びに向かえるようにすることが大切である。

実践事例

あたらしい
いちねんせい

な ろみつけた　あたらしいこと	3 × 6	小学校の先生も絵本を読んでくれるからうれしいな。 じゃんけん列車をやっていたよ。大好きだったよ。 小学校って楽しいな。他にどんなところがあるんだろう。	つぶやきや姿を受け止め，まずは教師との信頼関係を築くことを大切にする。		
		○みんなで学校の中を探検する。 ◆○○さんが桜の花びらを見付けたんだって。みんなで運動場へ出かけて，春を見付けてみよう。 私も花びらを見付けたよ。幼稚園の時ははなびらを乗せて砂のお料理につくったなあ。 このお花，保育園にも咲いていたのと同じだよ。 気持ちのいい風が吹いているね。 運動場は広いな。遊具も大きいな。走ってみたいな。 飼育小屋にうさぎがいるよ。幼稚園でお世話していたよ。 ◆昨日運動場に探検に行ったら，今度は体をたくさん動かしたいという声が聞こえてきたよ。今日はみんなで一緒に運動場で遊ぼう。 遊具では順番に並んでするよ。 保育園では鬼ごっこのルールはこんなのだったよ。ここでは，どうする？ ◆学校には本がたくさんある部屋があるけど，知ってる？行ってみようか。 幼稚園ではおうちの人と一緒に借りられたよ。小学校はどうするの？	✍子どものつぶやきから活動のきっかけを見付けたり，教師からの問いかけによって興味・関心を引き出したりして主体的に活動できる授業内容を柔軟に組み立てていく。 他他教科等の単元や目標，内容をつかんでおき，子どもの様子に応じて柔軟にその場で指導したり活動したりできるようにする。 【例】体全体を使ったり，遊具を使ったりして遊ぶ（体育との合科） 学校生活について見付けたものを話し合う（国語との合科） 評価においては，各教科等の評価規準や内容に即しながら，総合的に評価する。 ✍次に行う学校探検単元の基礎		

STEP 3 幼児期の総合的な学びからの円滑な移行を進める

大切！

心と体を一体的に働かせて学ぶという低学年児童の特性を生かし，主体的に自己を発揮しながら，より自覚的な学びに向かえるようにすることが大切である。

学びを豊かにするポイント

〈参照〉

P.24～

ポイント〈1〉

思いや願いを生かした学習活動を構成する

ポイント〈2〉

体験をきっかけにして，各教科等につなげる

ポイント〈3〉

生活上必要な習慣や技能が身に付くように指導する

STEP 4 PDCAサイクルにより，検証・改善を進める

大切！

実践を記録し，検証・改善の足跡を残しながら翌年度に引き継ぐといった，学校体制でのシステムを構築することが大切である。

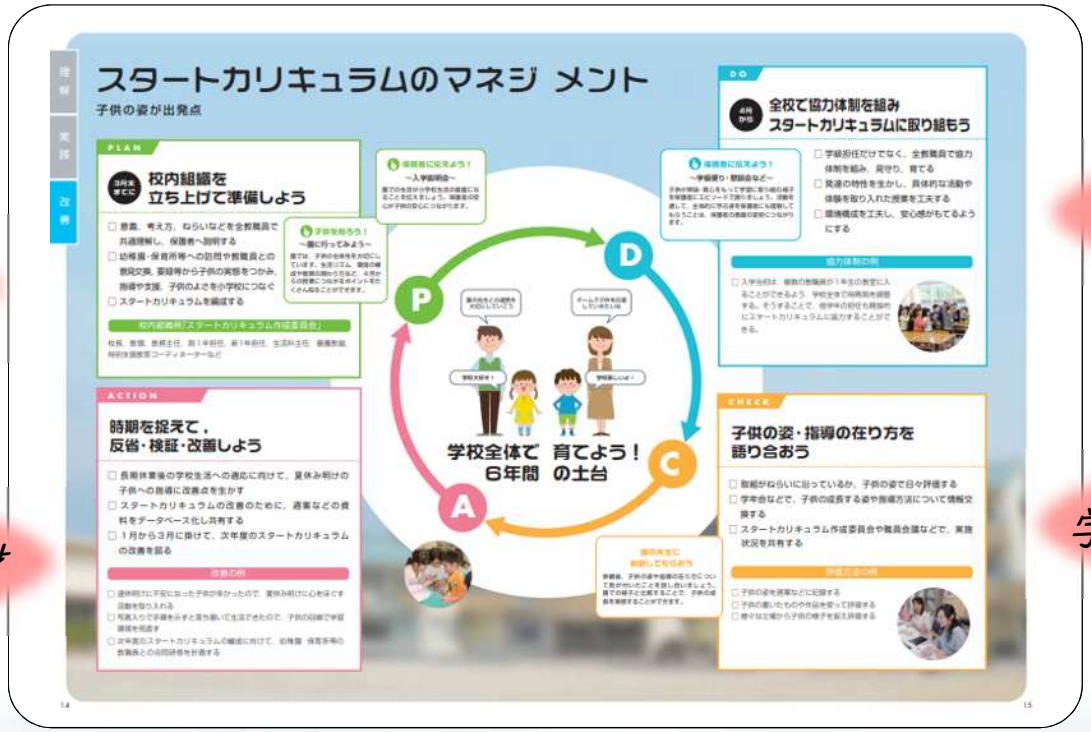
チェックポイント

週案

板書や掲示物の画像

作成教材

児童の活動中の画像



関連単元配列表

記録用紙

教室環境の画像

学習指導案

〈参照〉

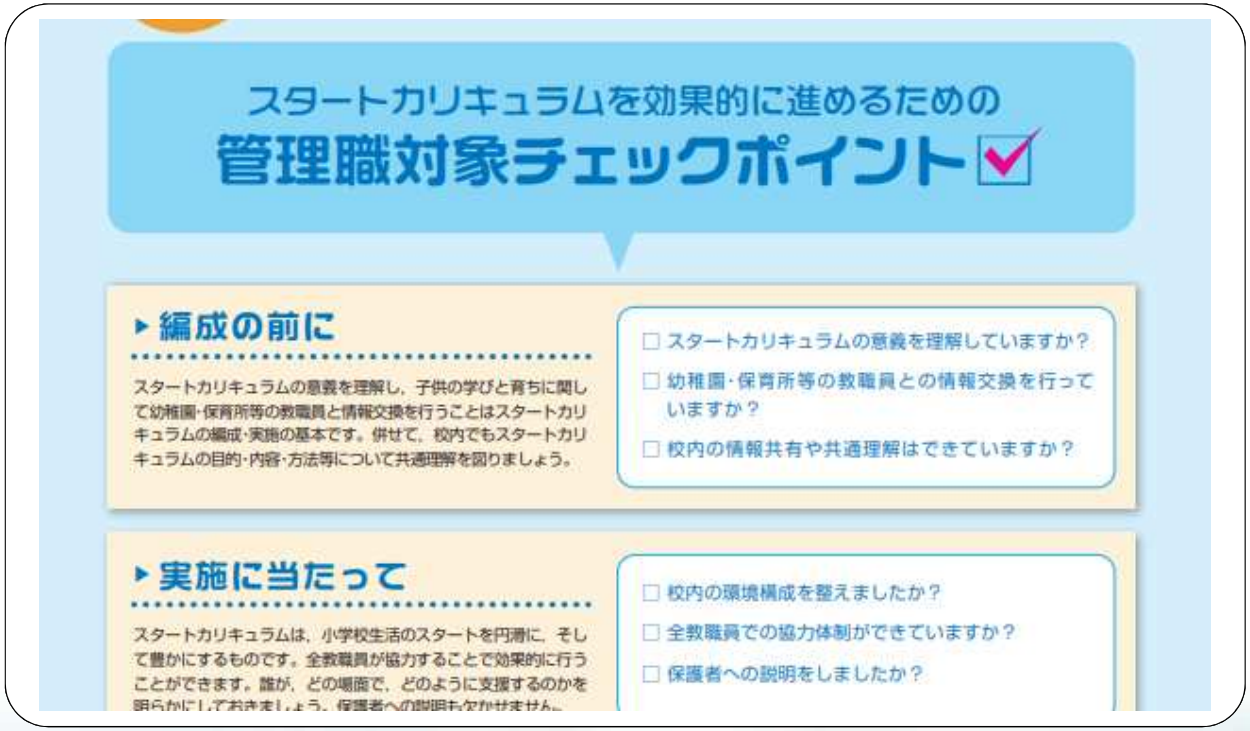
P.14・15

STEP 4 PDCAサイクルにより，検証・改善を進める

大切！

実践を記録し，検証・改善の足跡を残しながら翌年度に引き継ぐといった，学校体制でのシステムを構築することが大切である。

チェックポイント



スタートカリキュラムを効果的に進めるための
管理職対象チェックポイント

▸編成の前に

スタートカリキュラムの意義を理解し，子供の学びと育ちに関して幼稚園・保育所等の教職員と情報交換を行うことはスタートカリキュラムの編成・実施の基本です。併せて，校内でもスタートカリキュラムの目的・内容・方法等について共通理解を図りましょう。

- □ スタートカリキュラムの意義を理解していますか？
- □ 幼稚園・保育所等の教職員との情報交換を行っていますか？
- □ 校内の情報共有や共通理解はできていますか？

▸実施に当たって

スタートカリキュラムは，小学校生活のスタートを円滑に，そして豊かにするものです。全教職員が協力することで効果的に行うことができます。誰が，どの場面で，どのように支援するのかを明らかにしておきましょう。保護者への説明も欠かせません。

- □ 校内の環境構成を整えましたか？
- □ 全教職員での協力体制ができていますか？
- □ 保護者への説明をしましたか？

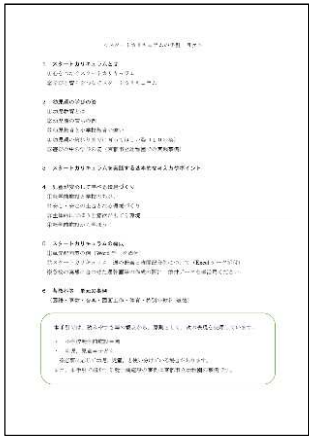
〈参照〉

P.16

参考資料

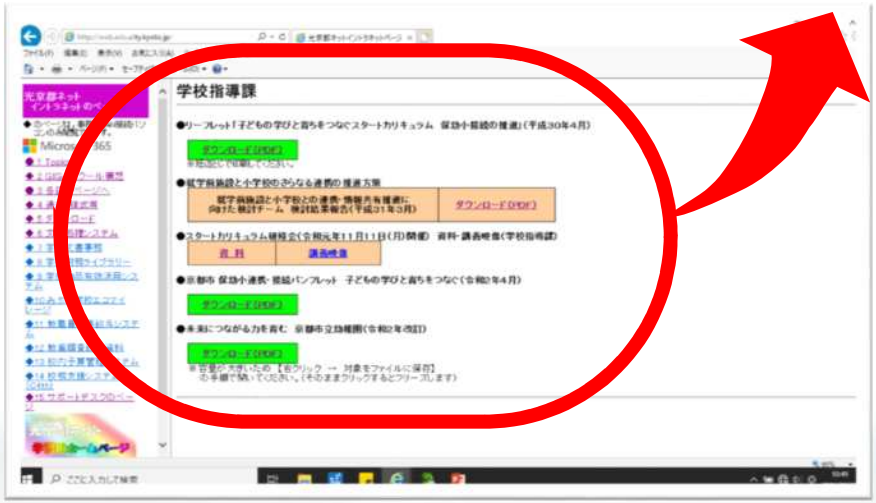
発達や学びをつなぐ
スタートカリキュラム
スタートカリキュラム導入・実践の手引き

スタートカリキュラムの編成の作り方・進め方が分かる
スタートカリキュラム
スタートブック
必携！



子どもの学びと育ちをつなぐスタートカリキュラム
保幼小接続の推進

できるところから進めてみよう！
子どもの学びと育ちをつなぐ


学校指導課
●リーフレット「子どもの学びと育ちをつなぐスタートカリキュラム 保幼小接続の推進」（平成30年4月）
ダウンロード（PDF）
●紙学前施設と小学校のさらなる連携の推進方策
紙学前施設と小学校との連携・接続方を推進に向けた検討チーム 検討結果報告（平成31年3月）
ダウンロード（PDF）
●スタートカリキュラム研修会（令和元年11月11日（月）開催） 資料・講義映像（学校指導課）
資 料
講義映像
●京都市 保幼小連携・接続パンフレット 子どもの学びと育ちをつなぐ（令和2年4月）
ダウンロード（PDF）
●未来につながる力を育む 京都市立幼稚園（令和2年4月）
ダウンロード（PDF）

スタートカリキュラムのマネジメントについて

スタートカリキュラムの編成・実践・評価の実際

ありがとうございました。

京都市教育委員会
指導部　学校指導課
首席指導主事　安村　俊輔